

# 大学支援フォーラムPEAKS 2022年度イェール大学プログラム カリキュラム概要

## 全体概要

### 開催方式

本プログラムは、イェール大学と大学支援フォーラムPEAKSが共同で開発したオリジナルプログラムであり、以下の通り構成されます。

- ① 自己学習
- ② 国内事前研修（1日間）
- ③ イェールプログラム（中間・最終振り返りを含む14日間）

「①自己学習」は、③イェールプログラムのオンデマンドプログラムをはじめとして、動画・スライド・書籍等を通じて、知っておいていただきたい基礎的な知識を習得いただくことを目的としております。

「②国内事前研修」は、③イェールプログラムに先立ち、日本および諸外国の高等教育市場における最新動向についての理解を深め、プログラム受講者同士のネットワーキングを図ることを目的としており、**受講者全員の出席を必須とします。**

「③イェールプログラム」は、12テーマについてオンラインによるライブディスカッション形式で行ないますので積極的な参画を期待します。また、中間と最終日に受講生のみでの振り返りを行ない、知識の定着や深度化を図ります。

イェールプログラムについては、プログラムの都合上、実施回数の増減や開催日の日程変更がある可能性があります。

### 開催日程

#### ①自己学習

- 受講決定後～2022年10月7日（金）

#### ②国内事前研修（1日間）

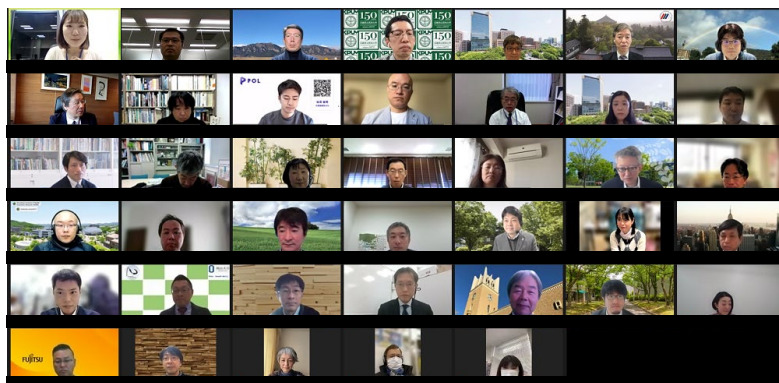
- 2022年10月8日（土）10:00～18:00（9：45受付開始）※全員参加必須

#### ③イェール大学プログラム（中間・最終振り返りを含む14日間。全てオンライン開催。）

- 2022年10月24日（月）～2022年11月18日（火）のうち14日間
  - 上記のうち、イェール大学のライブディスカッションを12日間実施
  - また、中間・最終振り返りを2日間実施
- 開催時間は8:30～9:30（日本時間）を想定

※すべてのプログラムを英語で実施します。

※実施回数の増減やオンライン開催日の日程変更がある可能性があります。



## 国内事前研修

### 開催日時・場所

- 開催日時：2022年10月8日（土）10:00～18:00（9：45受付開始）※全員参加必須
  - 開催場所：東京都内の会場での開催を予定しております。  
（決まり次第、ご参加者に別途ご連絡いたします）
- ※国内事前研修は新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、オンライン開催になる可能性があります。

### タイムテーブル

時間	コンテンツ	登壇者	概要説明
9:45～	受付	—	—
10:00～10:40 (40分)	オリエンテーション、自己紹介	上山 隆大 常勤議員 (内閣府 総合科学技術・ イノベーション会議)	①
10:40～12:10 (90分)	国内外の高等教育政策動向について（仮）		②
12:10～13:30 (80分)	休憩（昼食）・ネットワーキング	—	—
13:30～15:00 (90分)	講義（仮）	（調整中）	③
15:00～15:10 (10分)	休憩	—	—
15:10～17:40 (150分)	イェール大学プログラムに向けた グループワーク	（調整中）	④
17:40～17:50 (10分)	イェール大学プログラムの実施に向けて	大学支援フォーラム PEAKS事務局	—
17:50～18:00 (10分)	閉会挨拶	上山 隆大 常勤議員	—

※研修終了後、任意参加で懇談の時間を設ける予定です。

## ① オリエンテーション、自己紹介

上山 隆大 常勤議員（内閣府 総合科学技術・イノベーション会議）

講義/  
受講者による発表

<概要>

オリエンテーションとして、イェール大学プログラム全体の概要を説明するとともに、受講者による自己紹介を実施し、受講者間のコミュニケーションの促進を図る。

## ② 国内外の高等教育政策動向について（仮）

上山 隆大 常勤議員（内閣府 総合科学技術・イノベーション会議）

講義/  
受講者による発表

<概要>

世界の高等教育の変貌を概観するとともに、研究大学の特筆すべき取組や課題について整理し、日本の高等教育への示唆について考察する。

## ③ 講義（仮）

（調整中）

講義/  
全体ディスカッション

<概要>

イェール大学プログラムに関連した講義を行う。（内容調整中）

## ④ イェール大学プログラムに向けたグループワーク

（調整中）

受講者によるグループワーク/  
ディスカッション/発表

<概要>

日本、自組織、個人が抱える課題を各受講者が持ち寄り共有し、グループにてディスカッションを行うことで更に深め、相互理解を図るとともに、日本の現況をイェール大学へ情報提供することを見据えた準備を行い、イェール大学プログラムに繋げる。

## 開催テーマ

- ✓ イエールプログラム本編は、「12テーマ12日間+中間・最終振り返り各1日」で学習します。
- ✓ 本プログラムは、すべてオンラインでの実施です。
- ✓ 事前にオンデマンドにて学習をいただき、そこで学んだことを基に、オンラインプログラム時に直接講師へのご質問が可能です。
- ✓ イエール大学プログラムのスケジュール・コンテンツ内容は現在最終調整中のため、記載の内容とは異なる内容となる場合があります。

テーマ	コンテンツ（順序は今後決定）
①	米国の研究大学の組織とガバナンス The Organization and Governance of American Research Universities
②	イエール大学のリベラルアーツ教育 Liberal Arts Education at Yale
③	大学教員のマネジメント Faculty Management
④	イノベーションを促進・支援するための大学の戦略 University Strategies to Promote and Support Innovation
⑤	イエール大学のアカデミック・プライオリティ Yale's Academic Priorities
⑥	卒業生との関係構築と関係強化 Alumni Relations and Development
⑦	大学理事会のマネジメント Managing a Board of Directors
⑧	大学と政府の関係 University-Government Relations
⑨	米国の研究大学におけるイノベーション教育とトレーニング Innovation Education and Training at US Research Universities
⑩	戦略的な財務計画 Strategic Financial Planning
⑪	経済成長の原動力としての大学 Universities as Engines of Economic Development
⑫	大学の研究の商業化の成功事例 Successful Commercialization of University Research
⑬	中間振り返り Mid-term Reflection
⑭	最終振り返り Term-end Reflection

	テーマ/登壇者	概要
①	<p><b>米国の研究大学の組織とガバナンス</b>  <b>The Organization and Governance of American Research Universities</b></p> <p>Steven Wilkinson,                      Vice Provost for Global Strategy</p>	<p>グローバルな研究大学や学部教育のあり方、米国の公立・私立の研究大学の組織構造の特徴、アドバイザリーグループ、戦略的なアカデミック計画等のテーマで、米国の主要な大学におけるガバナンスの事例を概観する。</p> <p>An overview of governance practices of major US universities, including features of a global research university, undergraduate education principles, organizational structure of public and private US research universities, advisory groups, and strategic academic planning.</p>
②	<p><b>イエール大学のリベラルアーツ教育</b>  <b>Liberal Arts Education at Yale</b></p> <p>Pericles Lewis,                      Dean of Yale College</p>	<p>イエール大学の学部生は、専門教育だけではなく、一般教養を身につけるためのリベラル・アーツ教育のカリキュラムも受講する。学生は批判的思考を鍛え、生涯にわたる学びとリーダーシップのための準備をする。その伝統と革新を概観する。</p> <p>Undergraduates in Yale College are enrolled in a liberal arts curriculum, which offers a broad-based education not designed to be pre-professional. Students are trained to think critically and are prepared for a lifetime of learning and leadership.</p>
③	<p><b>大学教員のマネジメント</b>  <b>Faculty Management</b></p> <p>Karen Anderson,                      Associate Provost for Academic Resources and Faculty Development</p> <p>Tamar Gendler,                      Dean, Faculty of Arts and Sciences</p>	<p>教員の採用、評価、昇進に関し、大学がどのようにデザイン・マネジメントしているのか（テニュアシステムや解雇の仕組みも含めて）。</p> <p>How the university designs and manages the hiring, evaluation, and promotion of faculty, including how the tenure system works and when faculty are dismissed</p>

	テーマ/登壇者	概要
④	<p><b>イノベーションを促進し支援する大学の戦略</b>  <b>University Strategies to Promote and Support Innovation</b></p> <p>Josh Geballe,                      Senior Associate Provost for Entrepreneurship &amp; Innovation;                      Managing Director, Yale Ventures</p>	<p>米国の大学が、教員や学生による起業やイノベーションを奨励・支援してきた歴史や戦略を紹介する。</p> <p>An overview of the history and strategies of US research universities to encourage and support entrepreneurship and innovation by faculty and students.</p>
⑤	<p><b>イエール大学のアカデミック・プライオリティ</b>                      Yale's Academic Priorities</p> <p>Peter Salovey,                      President, Yale University</p>	<p>異分野の融合とエクセレンスの達成、公共政策への貢献、科学戦略等、イエール大学の優先的取組み事項についてディスカッションを行う。</p> <p>A discussion of Yale's current priorities, including excellence and connectivity across disciplines, empirical contributions to public policy, and science strategy.</p>
⑥	<p><b>卒業生との関係構築と関係強化</b>  <b>Alumni Relations and Development</b></p> <p>Weili Cheng,                      Executive Director, Yale Alumni Association</p> <p>Joan O'Neill,                      Vice President for Alumni Affairs and Development</p>	<p>アメリカの大学が、卒業生と生涯を通じてどのように関わっているのか（寄付者としての関わりも含む）を概観する。多くの米国の大学では、卒業生との関係とファンドレイジング・開発活動は統合されている。</p> <p>An overview of how US universities engage alumni throughout their lives, including as donors. At many US universities, alumni relations and fundraising, or development activities, have merged.</p>
⑦	<p><b>大学理事会のマネジメント</b>  <b>Managing a Board of Directors</b></p> <p>Martha Schall,                      Associate Vice President for Institutional Affairs</p>	<p>このセッションでは、イエール大学がどのように理事を選び、どのように理事会が機能し、理事会の役割や責任は何なのかを議論する。</p> <p>In this session, we will discuss how Yale selects trustees for its board of directors, and how the board of directors (Yale Corporation) functions, what its roles and responsibilities are.</p>

	テーマ/登壇者	概要
⑧	<p><b>大学と政府の関係</b>  <b>University-Government Relations</b></p> <p>Richard Jacob,            Associate Vice President for Federal and State Relations</p>	<p>大学が連邦政府や州政府とどのようにかわり、高等教育機関の利益を促進しているか、をテーマとする。            How universities engage with the federal government and with state governments to advance the interests of institutions of higher education.</p>
⑨	<p><b>米国の研究大学におけるイノベーション教育とトレーニング</b>  <b>Innovation Education and Training at US Research Universities</b></p> <p>Kyle Jensen,            Associate Dean; Director of Entrepreneurial Programs, Yale School of Management</p> <p>Clare Leinweber,            Executive Director, Tsai Center for Innovative Thinking</p>	<p>イエール大学は学内において学際的なアントレプレナーシップの文化を創造し、拡大している。例えば、学生のベンチャー起業支援、メンターや連携先との豊富なネットワークの利活用、学生や学科がイノベティブな活動に取り組むための支援を行っている。これら取り組みの紹介およびディスカッションを行う。            Yale is committed to creating and expanding a culture of interdisciplinary entrepreneurship across the university, including offering an academic entrepreneurship curriculum, support for student-founded ventures, and maintaining a rich network of mentors and collaborators for students and faculty engaged in innovative work.</p>
⑩	<p><b>戦略的な財務戦略</b>  <b>Strategic Financial Planning</b></p> <p>Stephen Murphy,            Vice President for Finance and Chief Financial Officer</p>	<p>大学の財務マネジメントと計画は、大学の規模が拡大し、新しいプログラムを追加するような場面であっても、プログラムの持続可能性が担保されなければならないと認識することから始まる。大学が保持する様々な資産と共に、米国の大学の主たる収益源は何かを探り、長期的価値の維持向上のカギをディスカッションを行う。            Sound financial management and planning by a university begins by recognizing that academic programs must be sustainable over time even as the university grows and adds new programs. The major sources of revenue for a US university will be examined, along with the categories of assets a university enjoys – and key ways to maintain their value over time.</p>



	テーマ/登壇者	概要
<p>⑪</p>	<p><b>経済成長の原動力としての大学</b>  <b>Universities as Engines of Economic Development</b></p> <p>James Boyle,            Executive Director, Faculty Entrepreneurship &amp; Venture Development, Yale Ventures</p> <p>William Wiesler,            Director of New Ventures &amp; Blavatnik Fund for Innovation, Yale Ventures</p>	<p>イエールの大学教員や学生がイエール大学発ベンチャーを立ち上げるのを支援するための戦略を探求する。大学発ベンチャーは、イエール大学のテクノロジー、例えば、バイオテクノロジー、薬学、メディカル・デバイス、診断学、クリーンテクノロジー、ソフトウェア等、大学の保有する技術に依拠している。革新的だがシーズ段階の研究と、高い影響力を持つプロダクトの開発の成功の間にあるギャップを埋める懸け橋になる方法もまた探究する。</p> <p>Exploration of strategies employed to support Yale faculty and students to form new ventures based on Yale technologies, including biotech, pharmaceuticals, medical devices, diagnostics, cleantech, and software. How to bridge the gap between innovative, early-stage research and successful development of high-impact products.</p>
<p>⑫</p>	<p><b>大学の研究の商業化の成功事例</b>  <b>Successful Commercialization of University Research</b></p> <p>Rajit Manohar,            Professor of Electrical Engineering and Computer Science; Founder, Achronix Semiconductor Corporation</p> <p>Craig Crews,            Professor of Molecular, Cellular and Developmental Biology; Founder, Arvinas</p> <p>Jonathan Rothberg,            Professor (Adjunct) of Research in Genetics Margaret Cartiera, Associate Research Scientist; Leadership Team, Yale Center for Biomedical Innovation and Technology; Innovation Director, Center for Health Care Innovation</p>	<p>起業家でもある科学者によるパネルディスカッションを行う。登壇者は、商業的に可視化され、利益を生み、経済成長をドライブし、社会に利益をもたらすプロダクトやサービスに、学術的な知見を移転した経験を持っている。</p> <p>Panel discussion among entrepreneur-scientists with experience transferring technology from the academic setting into commercially viable products and services that create profit, drive economic development, and benefit society.</p>